

出版業界でのデジタル印刷活用を推進する共同宣言（要約版）

2026年1月20日

一般社団法人 日本出版取次協会

一般社団法人 電子出版制作・流通協議会

私たちは、出版産業と出版文化の持続性に対する強い危機感から、出版流通改革に向けてかつてない規模で結束したうえで、出版サプライチェーンの課題に対して、デジタル印刷を解決の一手段として普及活用を推進する活動を開始しました。

この活動を起点とした出版DX（出版サプライチェーン全体の変革と読者への新たな価値提供）の実現を通じて、読者のために出版の多様性と持続性を守り抜くことを宣言します。

1. デジタル印刷活用を推進する背景：読者のために、出版の多様性・持続性のために

私たち出版関係者が共有すべき最も大きな目的は、「読者のために良い本を、必要なときに、必要な形で届けること」です。本との出会い方が変わるなかでも、書店の現場では「買いたいのに本がない」「再入荷の見通しが立たない」という声が後を絶ちません。読者に届かなかった一冊は読者にとっては文化的な出会いの喪失であり、書店や出版社にとっても販売機会の損失です。

その背景には、需要の把握や予測の困難さ、在庫リスクの増大、印刷製造上の制約など、出版サプライチェーンをめぐる構造的な課題があります。これらの課題を解決して、出版の多様性と持続性を守り抜くことこそ、私たち出版人に課せられた使命であると考えます。

2. デジタル印刷（DSR）を一手段として出版流通上の課題を解決

小ロット・短納期でのデジタル製造が可能な「デジタルショートラン（DSR）」を活用することで、在庫リスクを抑えつつ、必要な本を、必要なときに、必要なだけ届ける仕組みを構築します。

近年のデジタル印刷は、オフセット印刷と同等の品質を実現しています。また DSR 活用は返品や在庫コストの削減にもつながります。DSR を一手段として出版流通上の課題解決に取り組んでいきます。

3. 業界団体としての DSR 活用普及に向けた協調的な取り組み

両団体は合同プロジェクトチームを立ち上げて、「DSR 標準仕様の策定と提案」、「出版社・印刷会社間の業務効率化」、「DSR 出版物の流通ルール整備と見える化」、「出版社課題の解決と導入促進」、「業界内外への周知活動」などを、協調領域として取り組んでいます。

4. 共同宣言をスタートとして出版DXの実現に継続的に取り組む

今回の共同宣言はゴールではなくスタートです。

出版社・書店・取次・印刷製造が垣根を越えて連携し、出版DXの実現を推進することで、読者に確実に本を届ける、持続可能な出版エコシステムの構築を目指します。

以上

（共同宣言の全体版は別紙を御覧ください）